

## 4 看護学科

### (1) 教育理念と人材育成の目的

本学科の教育理念は、実学を重視する本学の建学の精神と、高度な知識を有し社会貢献できる人材育成を目指す人間科学部の教育理念の基、ヒューマンケアの基本的な能力および看護の専門知識を活用した実践能力、学修への主体性を有し、自律的な行動ができ、専門職者として研鑽し続ける基本的な能力および社会の一員としての責任を身につけた人間性豊かな人材を輩出する看護基礎教育をめざすことである。

人材育成の目的は、本学と、人間科学部の教育目的に基づき、学修への主体性と自律性を有し、社会の一員としての責任と専門職倫理観を基盤として、看護の専門知識、対象理解能力、問題解決能力を修得して多様なケア環境の場で看護実践を行うための基本的な能力を活かし、看護の発展と社会へ貢献できる人材を輩出することである。

### (2) 教育課程の構成と概要

上記目的を達成するために看護学科の教育課程は、①教養科目、②専門基礎科目、③専門科目によって構成されている。

#### ① 教養科目

「教養科目」は、人間と文化、社会と制度、自然と科学、外国語、スポーツと健康、総合領域の6分野から構成されている。1年次にほぼ必要単位を履修し、人間の尊厳を倫理面、制度・経済、文化などの多面的な視点から理解を深めるための基盤づくりとしている。外国語分野では、国際学部を併設する本学の利点を活かして、「中国語Ⅰ」「英語Ⅰ・Ⅱ」の言語と、各言語の習熟度に応じた内容で選択科目を設けている。さらに「看護基礎講座」では、看護の学修に必要な「課題発見・探究（解決）能力」と「コミュニケーション能力」「社会人としての責任感」を高めるように配置している。

#### ② 専門基礎科目

「専門基礎科目」は、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度の3分野から構成されている。人体の構造と機能では、専門科目修得の基盤となる、「人体構造学Ⅰ・Ⅱ」「人体機能学Ⅰ・Ⅱ」が配置し、疾病の成り立ちと回復の促進では、「看護病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」や「感染症と看護」、健康支援と社会保障制度では、「医療概論」「関係法規」などの科目を配置している。

#### ③ 専門科目

「専門科目」は、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、地域・在宅看護論、看護の統合と実践、臨地実習の9分野から構成されている。基礎看護学の「看護学の基礎」や「日常生活援助技術Ⅰ・Ⅱ」などを1年次に配置し、1年次後期から2年次前期にかけて「成人看護学の基礎」や「地域看護学の基礎」などの各分野の概要がわかる科目を配置、2年次後期から3年次前期にかけて、「老年看護学の展開Ⅰ・Ⅱ」や「母性看護学の展開Ⅰ・Ⅱ」など各論科目を配置している。そして、4年生前期から後期にかけて、「看護マネジメント論」「国際看護学」「災害看護学」などの看護の統合と実践の科目を配置している。

### (3) 履修の方法

#### ① 卒業に必要な単位（表1）

卒業に必要な単位は124単位である。教養科目必修5単位、専門基礎科目必修33単位、専門科目必修75単位、選択科目11単位以上、合計124単位以上を卒業までに取得しなければならない。卒業要件を満たしたものは、学士（看護学）と看護師国家試験受験資格が得られる。

#### ② 進級要件（表1）

##### i) 1年次から2年次への進級要件

1年次に配当されている必修科目を、原則としてすべて修得していること。

##### ii) 2年次から3年次への進級要件

2年次までに配当されている必修科目を、原則としてすべて修得していること。

iii) 3年次から4年次への進級要件

3年次までに配当されている必修科目を原則としてすべて修得していること。

③ 選択科目の履修方法

選択科目は、教養科目32単位、専門基礎科目1単位、専門科目1単位で構成され、年次によって構成配分が定められている(表2)。また卒業要件の選択科目11単位以上には、履修規定があり教養科目の7科目11単位を含まなければならない(表3参照)。2年次以降専門基礎科目と専門科目が多くなるため、1年次のうちに教養科目から11単位以上の選択科目を履修しておくことを勧める。

表1 進級・卒業要件

区分	2年次進級要件	3年次進級要件	4年次進級要件	卒業要件	
必修	34単位	78単位	100単位	113単位	124単位
選択	表2参照			11単位以上	

表2 選択科目の年次配分

年次	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
教養科目	19科目 30単位	1科目 1単位	1科目 1単位		21科目 32単位
専門基礎科目			1科目 1単位		1科目 1単位
専門科目				1科目 1単位	1科目 1単位
科目 単位計	19科目 30単位	1科目 1単位	2科目 2単位	1科目 1単位	23科目 34単位

表3 選択科目に関する履修規定

分野	分野別科目数・単位数の年次配分			卒業要件に含む選択科目数と単位数
	1年次	2年次	3年次	
人間と文化	4科目 8単位			1科目 2単位
社会と制度	2科目 4単位		1科目 1単位	1科目 2単位
自然と科学	5科目 10単位			2科目 4単位
外国語	6科目 6単位	1科目 1単位		2科目 2単位
スポーツと健康	2科目 2単位			1科目 1単位
科目 単位計	19科目 30単位	1科目 1単位	1科目 1単位	7科目 11単位

## (4) 取得可能な資格

看護師国家試験受験資格

## (5) 臨地実習について

### ① 臨地実習のねらい

実習科目は、1年次前期に「基礎看護学実習Ⅰ」、2年次後期に「基礎看護学実習Ⅱ」「地域フィールド実習」、3年次後期に「成人看護学実習」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「地域・在宅看護論実習」、4年次前期に「老年看護学実習」「精神看護学実習」「臨床判断実習」「看護実践マネジメント実習」を配置している。これにより、既習の教養科目の知識と技術を統合し、集大成として看護の対象である人々に看護を提供し、看護学の理解と思考力そして、人間観や自らの看護観を確立すると共に自身の成長も促す。

### ② 看護学実習の履修要件

看護学実習を履修するには、各実習が該当する学年への進級要件を満たしていること、且つ以下の科目の履修をしていることが必要である。

実習科目名	履修要件科目名
基礎看護学実習Ⅱ	看護栄養学、病理学、看護病態治療学Ⅰ～Ⅳ、臨床検査概論、感染症と看護、臨床看護技術、看護過程論
母性看護学実習	母性看護学の展開Ⅱ、Ⅲ
小児看護学実習	小児看護学の展開Ⅱ
成人看護学実習	成人看護学の展開Ⅲ
地域・在宅看護論実習	在宅看護学の展開Ⅱ